

ベンチャー企業の事業プレゼンテーションの場@YOXO BOX

「横浜ベンチャーピッチ」登壇企業を募集



YOXOBOXでの横浜ベンチャーピッチ



横浜市は、～横浜での“クロスオーバー”からイノベーションの創出～を目指してYOXO（よくぞ）のテーマのもと、ベンチャー企業の支援に取り組んでいます。

本事業は、ベンチャー企業がベンチャーキャピタルや金融機関、事業会社等に対して、自社のビジネスモデル等をプレゼンテーションする場を提供します。

令和2年度は、令和2年8月と11月、令和3年2月の計3回の開催を予定しています。

※新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みながら、オンライン対応などにより事業を実施します。

《横浜ベンチャーピッチのメリット》

- ☑ベンチャーキャピタル、金融機関、事業会社、メディア関係者との出会い
- ☑ベンチャー企業支援専門家によるプレゼンテーション資料等のブラッシュアップ
- ☑ベンチャー企業同士やYOXOBOX関係者とのネットワーキングの構築

1 第15回横浜ベンチャーピッチ 概要

- ◆日時：令和2年8月27日（木） 15時～17時（予定）
- ◆場所：オンラインか状況に応じてYOXO BOX（横浜市中区尾上町一丁目6番 ICON 関内（1階））
- ◆企業：5社程度
- ◆当日の進め方：各社のプレゼンテーション + 質疑応答

2 対象企業

- 起業して概ね10年以内の市内中小・ベンチャー企業
 - 市内での事業展開をお考えの市外中小・ベンチャー企業
 - 事業をさらに成長・発展させていく意欲があり、優れたビジネスモデルや独自の技術を有する企業
- ※個人事業者、NPO法人は対象となりません。登壇企業決定には審査があります。

3 参加のお申込み

登壇企業は令和3年2月開催まで通年で受け付けています。

- ・第15回横浜ベンチャーピッチについてはスケジュールの関係上概ね7月下旬まで受付します。
- ・参加のお申込み、詳細については、下記HPからご確認下さい。

運営事業者：株式会社角川アスキー総合研究所

HP：<https://yi.city.yokohama.lg.jp/article/66/>

※本プログラムは、横浜市経済局の事業の一環として実施するものであり、関内ベンチャー企業成長支援事業共同企業体のメンバーである株式会社角川アスキー総合研究所が企画・運営するプログラムです。

YOXOの取組について

◆イノベーション都市・横浜◆

横浜市は、平成31年1月に、新たなイノベーションを横浜から創出していく、「イノベーション都市・横浜」を宣言しました。これまでに、みなとみらい地区の研究開発拠点をはじめ、様々な民間企業や、大学等によりイノベーション人材の交流機会が形成されています。今後、この取組を更に大きなムーブメントとしていくため、「イノベーション都市・横浜」の象徴となるロゴマーク YOXO（よくぞ）を決定しました。ロゴマークをシンボルとして、新たなビジネスを生み出す環境を作ります。

◆YOXO BOX◆ ※6月1日より当面の間、12:00～18:30までの開所。

令和元年、関内にベンチャー企業成長支援拠点として、「YOXO BOX（よくぞボックス）」を設置しました。YOXO BOXは、本拠点が横浜に新しい交流を生み出すためのサンドボックス（砂場=実験場）となるという意味を込めて命名しました。YOXO BOXでは、「イノベーション都市・横浜」の推進に向け、ベンチャー企業等を対象としたYOXOアクセラレータープログラムやベンチャー企業支援の専門家による個別相談などを実施しています。（場所：横浜市中区尾上町一丁目6番ICON関内（1階）



横浜をクロスオーバーする。
イノベーションが起こる。

開港から160年、
横浜は、メディア、エネルギー、文化など
数々のイノベーションを
異分野との交流から生み出してきた。

そして今、
横浜は、組織や領域を越えて、
新たなクロスオーバーを生み出す
イノベーション都市へ進化する。
YOXO(よくぞ)に選ばれる
未来への挑戦者たちのために。



お問合せ先

経済局 新産業創造課長

高木 秀昭

Tel 045-671-3913

※本件は、横浜経済記者クラブへも同時発表しています。